

政策会議付議事案書 (令和7年11月4日)

提案課名 観光振興課 公共建築課

報告者名 佐藤 剛 杉田 久

事案名	本市を原告とする損害賠償請求事件の対応について	資料 無
目的・必要性	<p>本市は、名水はだの富士見の湯の熱供給施設において発生した漏水被害等の不具合による改修工事等のため、多額の費用を負担しました。</p> <p>本件不具合に関して、熱供給施設の配管工事に不備があったとし、施工事業者3者及び工事監理者1者（以下「被告ら」という。）に対し、損害賠償金及び遅延損害金を求める訴えを提起しました。</p> <p>令和7年10月23日に第一審判決が下されましたが、その内容は本市の請求が棄却されるものであり、これに承服できないため、控訴するものです。</p>	
経過・検討結果	<p>1 経過</p> <p style="margin-left: 20px;">令和4年 6月15日 訴訟を提起</p> <p style="margin-left: 40px;">10月17日 第1回口頭弁論</p> <p style="margin-left: 20px;">令和7年 7月17日 第3回口頭弁論にて弁論終結</p> <p style="margin-left: 40px;">10月23日 第一審判決</p> <p style="margin-left: 40px;">10月27日 第一審判決を議員各位に情報提供</p> <p>2 検討結果</p> <p>裁判所は、配管工事の不備により本件不具合が発生したという本市の主張に対し、疑問を差し挟む余地があると言わざるを得ないとし、配管工事の不備と本件不具合との間に相当因果関係がないと判断しました。また、配管の仕様変更に関する違法行為についても、被告らに注意義務がないとされました。この結果、第一審判決では本市の請求が棄却され、訴訟費用を本市が負担することになりました。</p> <p>本市としては、判決内容が事実や証拠に基づくものではないと考え、控訴するものです。</p>	
決定等を要する事項	<p>1 第一審判決に対し、控訴すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 控訴の議決については、令和4年3月第1回定例会議で得ています。</p> <p>2 控訴に係る費用を負担すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 収入印紙代 412,500円</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 郵送切手代 10,500円</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 弁護士費用 2,783,000円</p>	
今後の取扱い	<p>令和7年11月6日 控訴状提出（期限：11月6日）、部長会議で報告</p> <p style="margin-left: 20px;">11月7日～ 会派懇談会にて議員へ報告</p> <p style="margin-left: 20px;">12月下旬 控訴理由書提出（控訴状提出から50日以内）</p> <p>令和8年 2月下旬 第一回口頭弁論期日（控訴理由書提出から約2か月を予定）</p> <p style="margin-left: 20px;">4月下旬 控訴審判決（第一回口頭弁論期日から約2か月を予定）</p>	